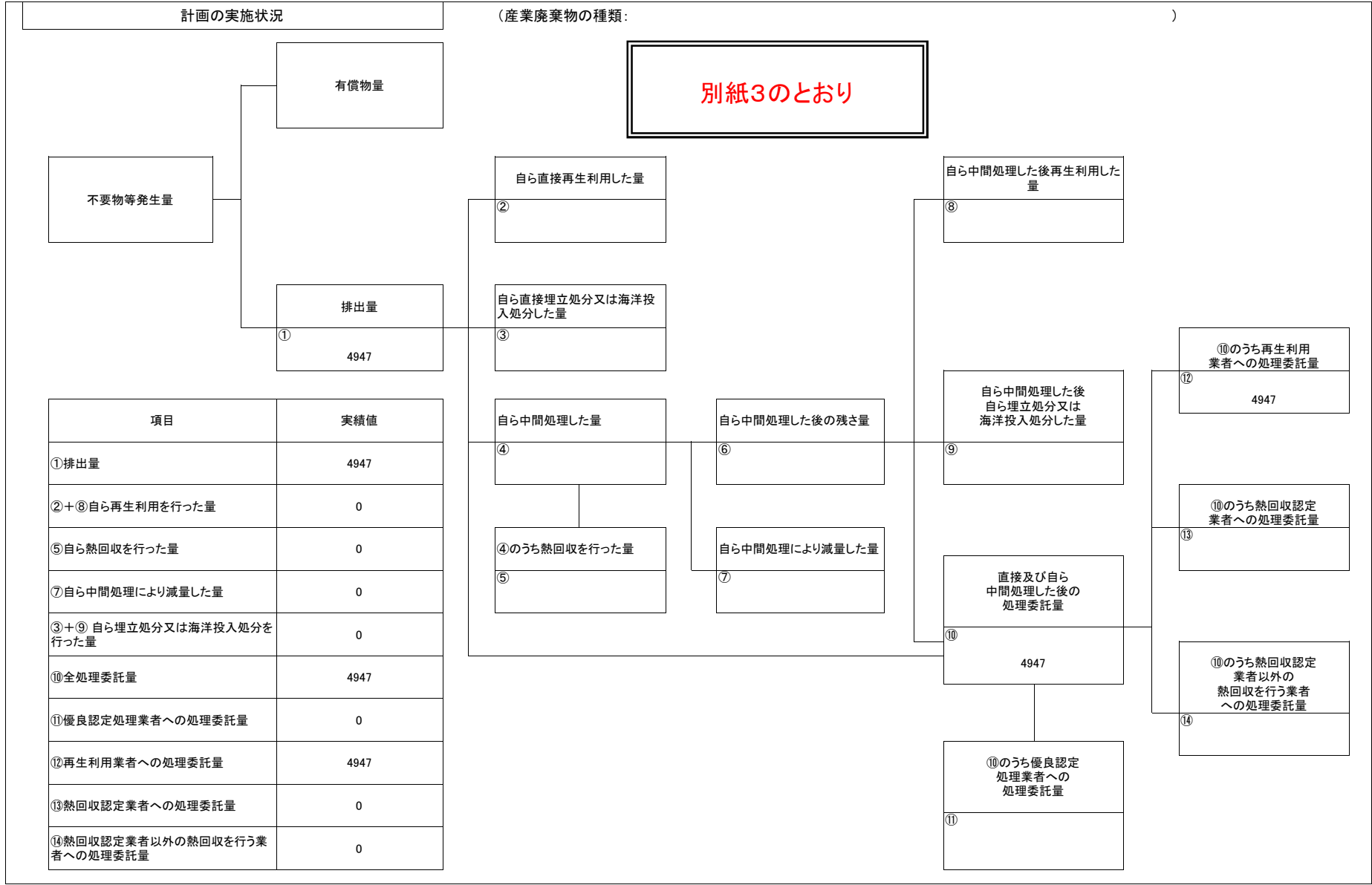


産業廃棄物処理計画実施状況報告書			
2024年 7月 12日			
広島県知事様			
提出者			
住所 広島市安芸区船越南一丁目2番6号			
氏名 株式会社 鴻治組			
代表取締役 檜山 典英			
電話番号 082-822-5211			
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、2023年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。			
事業場の名称	株式会社 鴻治組		
事業場の所在地	広島市安芸区船越南一丁目2番6号		
事業の種類	総合工事業		
産業廃棄物処理計画における計画期間	2023年4月1日から2024年3月31日		
産業廃棄物処理計画における目標値			
別紙4のとおり			
項目	目標値	項目	目標値
排出量	t	全処理委託量	t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投棄処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t



備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙3-その1(廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画実施状況報告書)
(2023年度実績)

単位:トン/年

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭
	排出量	自ら直接再生利用した量	自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	自ら中間処理した量	④のうち熱回収を行った量	自ら中間処理した後の残さ量	自ら中間処理により減量した量	自ら中間処理した後、再生利用した量	自ら中間処理した後、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	⑫のうち再生利用業者への処理委託量	⑬のうち熱回収認定業者への処理委託量	⑭のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
産業廃棄物の種類														
燃え殻														
汚泥	650									650	650	650		
廃油														
廃酸														
廃アルカリ														
廃プラスチック類	80									80	80	80		
紙くず	11									11	11	11		
木くず	1513									1513	1513	1513		
繊維くず	1									1	1	1		
動植物性残さ														
動物系固形不要物														
ゴムくず														
金属くず	10									10	10	10		
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず														
鋳さい														
がれき類	2663									2663	2663	2663		
動物のふん尿														
動物の死体														
ばいじん														
建設混合廃棄物	1									1	1	1		
廃石膏ボード	11									11	11	11		
石綿含有廃棄物	7									7	7	7		
合計	4947	0	0	0	0	0	0	0	0	4947	4947	4947	0	0

別紙3ーその2

単位:トン/年

	実 績 値									
	① 排出量	②+⑧ 自ら再生利用を行った量	⑤ 自ら熱回収を行った量	⑦ 自ら中間処理により減量した量	③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	⑩ 全処理委託量	⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	⑫ 再生利用業者への処理委託量	⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
産業廃棄物の種類										
燃え殻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
汚泥	650	0	0	0	0	650	650	650	0	0
廃油	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃酸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃アルカリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃プラスチック類	80	0	0	0	0	80	80	80	0	0
紙くず	11	0	0	0	0	11	11	11	0	0
木くず	1513	0	0	0	0	1513	1513	1513	0	0
繊維くず	1	0	0	0	0	1	1	1	0	0
動植物性残さ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動物系固形不要物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ゴムくず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金属くず	10	0	0	0	0	10	10	10	0	0
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鋳さい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
がれき類	2663	0	0	0	0	2663	2663	2663	0	0
動物のふん尿	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動物の死体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ばいじん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
建設混合廃棄物	1	0	0	0	0	1	1	1	0	0
廃石膏ボード	11	0	0	0	0	11	11	11	0	0
石綿含有廃棄物	7	0	0	0	0	7	7	7	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	4947	0	0	0	0	4947	4947	4947	0	0

別紙4(廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画実施状況報告書)

(2023年度実績)

単位:トン/年

	目標値		実績値
排出量	6190	①排出量	4947
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		②自ら直接再生利用した量	
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		⑤自ら熱回収を行った量	
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		⑦自ら中間処理により減量した量	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		③自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	
全処理委託量	6190	⑩全処理委託量	4947
優良認定処理業者への処理委託量	6190	⑪優良認定処理業者への処理委託量	4947
再生利用業者への処理委託量	6190	⑫再生利用業者への処理委託量	4947
熱回収認定業者への処理委託量		⑬熱回収認定業者への処理委託量	
熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	

産業廃棄物処理計画書	
令和 6年 8月 5日	
広島県知事 様	
提出者	
住所	広島市安芸区船越南 1 丁目2-6
氏名	株式会社 鴻治組
	代表取締役 檜山 典英
電話番号	082-822-5211
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社 鴻治組
事業場の所在地	広島市安芸区船越南 1 丁目2-6
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項 別紙 1, 2 のとおり	
①事業の種類	
②事業の規模	
③従業員数	
④産業廃棄物の一連の処理の工程	株式会社 鴻治組 広島県内作業 所他の 建設廃棄物 → 委託契約会社 の収集運搬 → 委託契約会社 の中間処理場 及び 最終処分場

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

別紙 1, 2 のとおり

(管理体制図)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

別紙 1, 2 のとおり

①現状	【前年度（平成 年度）実績】		
	産 業 廃 棄 物 の 種 類		
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産 業 廃 棄 物 の 種 類		
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項

別紙 1, 2 のとおり

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

別紙 1, 2 のとおり

①現状	【前年度（平成 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

別紙 1, 2 のとおり

①現状	【前年度（平成 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

別紙 1, 2 のとおり

①現状	【前年度（平成 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

別紙 1, 2 のとおり

①現状	【前年度（平成 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】 別紙 1, 2 のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙1(廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画書)

現状：前年(令和5年度)実績量

計画：今年度(令和6年度)計画量

単位:トン/年

産業廃棄物の種類	排出抑制に関する事項		自ら行う再生利用に関する事項		自ら行う中間処理に関する事項				自ら行う埋立処分等に関する事項		処理委託に関する事項									
	排出量 (前年度実績値の①)		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の②+⑧)		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の⑤)		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量 (前年度実績値の⑦)		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の③+⑨)		全処理委託量 (前年度実績値の⑩)		優良認定処理業者への処理委託量 (前年度実績値の⑪)		再生利用業者への処理委託量 (前年度実績値の⑫)		認定熱回収業者への処理委託量 (前年度実績値の⑬)		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 (前年度実績値の⑭)	
	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画
燃え殻		0	0	0	0	0	0	0	0	0		0		0		0	0	0	0	0
汚泥	650	0	0	0	0	0	0	0	0	0	650	0	650	0	650	0	0	0	0	0
廃油		0	0	0	0	0	0	0	0	0		0		0		0	0	0	0	0
廃酸		0	0	0	0	0	0	0	0	0		0		0		0	0	0	0	0
廃アルカリ		0	0	0	0	0	0	0	0	0		0		0		0	0	0	0	0
廃プラスチック類	80	50	0	0	0	0	0	0	0	0	80	50	80	50	80	50	0	0	0	0
紙くず	11	10	0	0	0	0	0	0	0	0	11	10	11	10	11	10	0	0	0	0
木くず	1513	1200	0	0	0	0	0	0	0	0	1513	1200	1513	1200	1513	1200	0	0	0	0
繊維くず	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0
動植物性残さ		0	0	0	0	0	0	0	0	0		0		0		0	0	0	0	0
動物系固形不要物		0	0	0	0	0	0	0	0	0		0		0		0	0	0	0	0
ゴムくず		0	0	0	0	0	0	0	0	0		0		0		0	0	0	0	0
金属くず	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	10	0	10	0	0	0	0	0
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず		0	0	0	0	0	0	0	0	0		0		0		0	0	0	0	0
鉱さい		0	0	0	0	0	0	0	0	0		0		0		0	0	0	0	0
がれき類	2663	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2663	0	2663	0	2663	0	0	0	0	0
動物のふん尿		0	0	0	0	0	0	0	0	0		0		0		0	0	0	0	0
動物の死体		0	0	0	0	0	0	0	0	0		0		0		0	0	0	0	0
ばいじん		0	0	0	0	0	0	0	0	0		0		0		0	0	0	0	0
建設混合廃棄物	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	0	11	0	11	0	0	0	0	0
石綿含有産業廃棄物	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	7	0	7	0				
廃石膏ボード	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0
合計	4947	1260	0	0	0	0	0	0	0	0	4947	1260	4947	1260	4947	1260	0	0	0	0

別紙 2（廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画書）

1 当該事業場において行っている事業に関する事項

①事業の種類	D06-建設業（総合工事業）
②事業の規模	令和5年度 工事完成高 4,035,000千円
③従業員数	75名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	がれき類（コンクリート殻・アスファルト殻）→再生処理業者に委託して再資源化 R C R M 再生埋戻土 再生合材として当社施工作業所にて使用 木くず・紙くず→再生処理業者に委託してチップ（合材用、燃料用）として再資源化 汚泥→中間処理業者・再生処理業者に委託して再生材（埋戻材等）として当社施工作業所にて使用 金属くず→再生処理業者に委託し再生材（鋼材）として再資源化 廃プラスチック・ガラス瓶・陶磁器くず→再生処理業者に委託して、熔融・圧縮したものは再資源化、破砕したものは安定型処分場で埋立 廃石膏ボード→再生処理業者に委託して破砕選別し、石膏ボードの原材料として再資源化

2 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項（管理体制図等、別紙を参照）

3 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	（これまでに実施した取組） 資材（コンクリート2次製品等）の再利用
②計画	（今後実施する予定の取組） 同上

4 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 可燃物・不燃物・A s 殻・コン殻・資源ゴミ等に分別
②計画	（今後、分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 上記と同様

5 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) 再生砕石 再生粒度調整採石 再生土 改良土 再生合材の使用
②計画	(今後実施する予定の取組)

6 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組)
②計画	(今後実施する予定の取組)

7 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組)
②計画	(今後実施する予定の取組)

8 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) 優良認定処理業者またはISO14001認証業者への処理委託
②計画	(今後実施する予定の取組) [㈱ISC ㈱アンドー ㈱熊野技建 ㈱マルシン ㈱クリーンエナジー 山陽工営㈱ 他]

管理体制図の例

